

〔科目名〕 中等教科教育法（ 商業Ⅰ ）	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 砂 場 孝一郎 sunaba koichiro	〔オフィス・アワー〕 時間： 授業実施日の昼食時間 場所： 5階 非常勤講師控え室	〔授業の方法〕 講義 演習
〔科目の概要〕 ・ 高等学校の教科「商業」の教師に必要な商業教育に関する法知識について学習するとともに、商業科教師として備えるべき教科の指導方法や指導技術について学習する。 ・ 春学期は、商業教育の理念、教育関連法規、教育課程の編成、教育方法などについての学習と、当該教科の指導能力の基礎を培うことを目的に、講義と演習を行う。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 1 2022年度から実施される新高等学校学習指導要領は、生徒に「生きる力」を育むことを目標としている。具体的には、①生徒は何を理解しているか、そして何ができるか ②生徒は理解していることをどのように生かすか ③生徒はどのように社会と関わり、よりよい人生を送るか 以上3つの柱に目標を整理できる。 2 よって、以上の目標を達成するために「高校の商業科教師」を目指す学生は、この教科教育法の科目を学ぶことで、本学で別に修得するビジネスに関する専門科目の知識・技術と関係付けることができ、教師として授業を効果的・効率的に指導できるようになる。 ・ また、本科目を学ぶことによって、商業科教師の採用試験を受験するにあたっての基礎能力及び教育関連法令を身に付けられる。		
〔科目の到達目標（最終目標・中間目標）〕 1 中間目標 ・商業教育の歴史的変遷を踏まえ、学習指導要領の内容、商業教育の現代的課題 及び 今後の方向性を理解させる。 ・商業教育が、現代においてどのような性格を持ち、効用があり、役割を果たしているかを理解させる。 2 最終目標 高校教育の教科「商業」を理解するとともに、適切に学習指導ができる教師としての資質を身に付けさせる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・ これまでの学生の授業評価は、公正であり、客観性があった。 よって、担当教員の板書内容や文字の丁寧さ、表現の方法などにも指摘があるので、留意したい。 ・ また、学期の途中において、学生から授業への要望などを確認して、「実質のある授業」にして、学生自身の教養の向上に努めていきたい。		
〔教科書〕 高等学校学習指導要領解説 商業編 …… 必ず購入すること（秋学期の教育法商業Ⅱでも利用） ビジネス基礎 （実教出版・青島矢一）…… 〃 〃 新簿記 （実教出版・安藤英義）…… 〃 〃 情報処理 （実教出版・並木通男）…… 〃 〃		
〔指定図書〕 本大学の図書館は、高校教育及び高校教師採用に関連する月刊誌等が、十分に閲覧できる環境にあるため、学生には授業を通じて紹介していく。		
〔参考書〕 「商業科教育論 21世紀の商業教育を創造する」 日本商業教育学会 実教出版株式会社 ISBN 978-4-407-34457-8 2019年10月15日 初版		

〔前提科目〕 必要な教職科目を修得または履修していること	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ・学修の課題 ～ ①筆記小テスト ②授業への参加状況（出席だけすればよいは評価せず） ③課題レポートの提出 ④模擬授業への取り組み姿勢等を、学修の課題（項目）とする。 ・上記学修の内容を、つぎの3つの評価の観点に基づき、総合的に絶対評価 をする。 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学修に取り組む態度	
〔評価の基準及びスケール〕 ・ 筆記小テスト、授業への参加状況、課題提出、模擬授業の実施等の学習意欲・学習態度等の質を事前に示している評価の観点に基づき、100点法で絶対評価する。 ・ 授業の中で課す課題レポートについては、学生が自分の意見を持つとする意欲が評価の基準となる。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ・ 文部科学省は、2018年に高等学校学習指導要領を改訂し、2022年度から年次進行で実施することとしている。いよいよその初年度が、本年度2022年度である。よって、高校教員採用試験を初め、高校教育の全てがこの新高等学校学習指導要領に基づいて行われることに留意して欲しい。 ・ 授業では、青森県等の施策を確認し、高等学校教育 特に、商業教育に対する 興味・関心を喚起するように務めて欲しい。 ・ 学生には、教員免許状取得のみを目的とするのではなく、教員採用試験の合格を目指して取り組んで欲しい。	
〔実務経歴〕 「該当なし」	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか)： 商業教育(ビジネス)とは 内 容： 1 商業科教員の資質 2 商業教育の動向 教科書・指定図書 教員作成のレジュメ・資料による
第2回	テーマ(何を学ぶか)： 学校教育について 内 容： 1 教育制度の概要 2 憲法、教育基本法、学校教育法等の法制度 教科書・指定図書 教員作成のレジュメ・資料による
第3回	テーマ(何を学ぶか)： 学校教育について 内 容： 1 地方公務員法 2 教育公務員特例法 3 教育職員免許法 4 その他の法令 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教員作成のレジュメ・資料による
第4回	テーマ(何を学ぶか)： 商業教育について 内 容： 1 商業教育の変遷 2 商業教育の意義と必要性 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領 解説「商業編」、教員作成のレジュメ・資料による
第5回	テーマ(何を学ぶか)： 商業教育について 内 容： 1 新学習指導要領 教科「商業」の概要説明 2 新学習指導要領 改訂のねらいの理解 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領 解説「商業編」、教員作成のレジュメ・資料による

第6回	テーマ(何を学ぶか)：高等学校学習指導要領解説「商業編」の詳細 内 容：1 教育課程編成の視点と原則 2 具体的な教育課程の編成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教員作成のレジュメ・資料による
第7回	テーマ(何を学ぶか)：教科「商業」の科目の説明 内 容：1 基礎的科目（科目名：ビジネス基礎）の目標と内容 2 模擬授業用の学習指導案の作成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第8回	テーマ(何を学ぶか)：教科「商業」の科目の説明 内 容：1 マーケティング分野（科目名：マーケティング）の目標と内容 2 模擬授業用の学習指導案の作成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第9回	テーマ(何を学ぶか)：教科「商業」の科目の説明 内 容：1 マネジメント分野（科目名：ビジネス・マネジメント）の目標と内容 2 模擬授業用の学習指導案の作成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第10回	テーマ(何を学ぶか)：教科「商業」の科目の説明 内 容：1 会計分野（科目名：簿記）の目標と内容 2 模擬授業用の学習指導案の作成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第11回	テーマ(何を学ぶか)：教科「商業」の科目の説明 内 容：1 ビジネス情報分野（科目名：情報処理）の目標と内容 2 模擬授業用の学習指導案の作成方法 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第12回	テーマ(何を学ぶか)：学生による模擬授業の実施 内 容：1 基礎的科目（科目名：ビジネス基礎） 2 学生による模擬授業 3 授業指導案の出来映え・模擬授業の合評会 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第13回	テーマ(何を学ぶか)：学生による模擬授業の実施 内 容：1 会計分野（科目名：簿記） 2 学生による模擬授業 3 授業指導案の出来映え・模擬授業の合評会 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第14回	テーマ(何を学ぶか)：学生による模擬授業の実施 内 容：1 ビジネス情報分野（科目名：情報処理） 2 学生による模擬授業 3 授業指導案の出来映え・模擬授業の合評会 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
第15回	テーマ(何を学ぶか)：春学期のまとめ、小テスト 内 容：1 新学習指導要領の目標と商業教育の方向性の確認 2 小テスト 教科書・指定図書 高等学校学習指導要領解説「商業編」、教科書
試 験	第15回授業の中で、まとめを目的とした筆記小テストを実施する。